

授 業 科目名	【 G 】	著作権法Ⅰ	区 分		開講年次	【 G 】 3	単位数	【 G 】 2
	【 H 】	著作権法Ⅰ	その他参照			【 H 】 3		【 H 】 2
科目区分	専門科目：【 G・H 】教科及び教科の指導法に関する科目（－・－・－・情報）							
授業形態	オンライン授業（複合型 A）							
担当形態	単 独	【 G 】 教員の免許状取得のための（－・－・－・情報選択）科目						
		【 H 】 教員の免許状取得のための（－・－・－・情報選択）科目						
施行規則に定める科目区分又は事項等		教科に関する専門的事項：「情報社会・情報倫理」（高一種免情報）						
サブ タイトル	著作権の保護対象等					担当者	濱口 太久未	
授業概要	【概要】	【実務経験を活かした授業】 国家公務員の経験を踏まえ、必要に応じて行政実務等についても説明することがありうる。 【概要】 知的財産法のうち著作権法を取り扱い、「著作権法Ⅰ」では、主として著作権法における保護対象（保護客体、権利主体）や権利の内容といった権利保護の側面について、代表的な裁判例にも適宜触れながら概説する。						
	【到達目標】	著作物や著作者、支分権等について基本的な理解をし、他者に対して一定の説明ができるようにする。						
履修条件	【注意】 この「著作権法Ⅰ」については特段の履修条件は無い。 ただし、後期の「著作権法Ⅱ」については「著作権法Ⅰ」の単位取得済みであることが履修条件であるので、「著作権法Ⅱ」の履修を考えている学生においては必ず「著作権法Ⅰ」の単位を取得すること。（「著作権法Ⅱ」は「著作権法Ⅰ」で扱う著作権制度の原則を前提として、その例外事項を種々取り扱うことになるので、「著作権法Ⅰ」の内容を十分に理解・体得していることが必要となるため。）							
アクティブ ラーニングの 方法	【 － 】	事前学習型	【 － 】	反転授業	【 － 】	調査学習	【 － 】	フィールドワーク
	【 － 】	双方向アンケート	【 － 】	グループワーク	【 － 】	対話・議論型授業	【 － 】	ロールプレイ
	【 － 】	プレゼンテーション	【 － 】	模擬授業	【 － 】	PBL	【 － 】	その他
ディプロマ・ ポリシーとの 関連性	DP（ディプロマ・ポリシー）①		◎ （よく当てはまる）					
	DP（ディプロマ・ポリシー）②		－ （当てはまらない）					
	DP（ディプロマ・ポリシー）③		－ （当てはまらない）					
	DP（ディプロマ・ポリシー）④		－ （当てはまらない）					
他科目との 関連性	【注意】 後期の「著作権法Ⅱ」との関係については、上記「履修条件」に記載した通りである。 知的財産法の科目として、「特許法」、「商標法」が開講しているところ、これらの科目を履修することで、著作権法の特徴をよりの確に把握することが可能になると考えられる。							
教科書	茶園成樹編『著作権法（第3版）』（有斐閣、2021年）2,970円 （※ 授業は教科書を用いて進めるので、必ず入手しておくこと。）							
参考書	小泉直樹＝田村善之＝駒田泰土＝上野達弘編『著作権判例百選（第6版）』（有斐閣、2019年）2,750円							
評価方法	小テスト（30％）＋達成度確認テスト（70％）							
フィードバック 方法	基本的に毎回小テストを授業時間内に実施し、その解説を次回講義の冒頭で行う。							
評価基準	授業内容についてこれをよく理解し適切に表現できた者にはその程度に応じて「S」又は「A」を与える。単元の内容についての理解や表現に何らかの不適切な点がある者はその程度に応じて「B」又は「C」とし、理解が不十分な者はその程度に応じて「D」又は「E」とする、なお、評価不能の場合には「F」とする。							

授 業	【 G 】	著作権法 I	区 分	開講年次	【 G 】 3	単位数	【 G 】 2
科目名	【 H 】	著作権法 I	その他参照		【 H 】 3		【 H 】 2
授業回数	授業内容						
1	オリエンテーション及び知的財産制度の沿革						
	予 習： シラバスを予習		復 習： シラバス及び授業内容を復習				
2	知的財産法の概要						
	予 習： 教科書P.1～P.4を予習		復 習： 教科書P.1～P.4の記述内容を復習・再現				
3	著作権法の概要						
	予 習： 教科書P.4～P.11を予習		復 習： 教科書P.4～P.11の記述内容を復習・再現				
4	著作物1(定義)						
	予 習： 教科書P.17～P.26を予習		復 習： 教科書P.17～P.26の記述内容を復習・再現				
5	著作物2(例示著作物1)						
	予 習： 教科書P.26～P.38を予習		復 習： 教科書P.26～P.38の記述内容を復習・再現				
6	著作物3(例示著作物2)						
	予 習： 教科書P.38～P.44を予習		復 習： 教科書P.38～P.44をの記述内容を復習・再現				
7	著作物4(特殊な著作物等)						
	予 習： 教科書P.45～P.54を予習		復 習： 教科書P.45～P.54の記述内容を復習・再現				
8	著作者1(創作者主義等)						
	予 習： 教科書P.55～P.66を予習		復 習： 教科書P.55～P.66の記述内容を復習・再現				
9	著作者2(職務著作等)						
	予 習： 教科書P.66～P.74を予習		復 習： 教科書P.66～P.74の記述内容を復習・再現				
10	著作財産権1(支分権1)						
	予 習： 教科書P.103～P.114を予習		復 習： 教科書P.103～P.114の記述内容を復習・再現				
11	著作財産権2(支分権2)						
	予 習： 教科書P.115～P.125を予習		復 習： 教科書P.115～P.125の記述内容を復習・再現				
12	著作財産権3(支分権3等)						
	予 習： 教科書P.126～P.139を予習		復 習： 教科書P.126～P.139の記述内容を復習・再現				
13	著作財産権4(保護期間)						
	予 習： 教科書P.140～教科書P.147を予習		復 習： 教科書P.140～P.147の記述内容を復習・再現				
14	著作者人格権						
	予 習： 教科書P.75～P.102を予習		復 習： 教科書P.75～P.102の記述内容を復習・再現				
15	まとめ及び達成度確認テスト						
	予 習： 第14回までの教科書該当ページを予習		復 習： 第14回までの教科書該当ページを復習				
その他	授業は毎回教科書に沿って解説を行う形で進めるので、必ず持参すること。また、毎回著作権法の関係条文を参照できるようにしておくこと。 授業ごとの予習・復習時間は、各90分程度を目安とすること。 私語等、授業の妨げになると判断した場合は退室させるので、このような行為は厳禁とする。 ※G・Hカリ:法【選択必修修(シ)】 スポ【選択必修修(シ)】 情【選択必修(F)】						